

生徒指導だより

元気！ 第一っ子



生徒指導担当 仲島
令和4年11月15日

11月の生活目標は「進んで読書をしよう」です

秋も深まり、1日の中でも寒暖差が大きくなる季節となりました。新型コロナウイルスの波が未だに途切れませんが、子どもたちが元気に学校生活を送ることができるよう、全職員が一丸となって教育活動を行ってまいります。

さて、今月の生活目標は「読書」をテーマとしたものです。世の中には電子書籍やネット記事、動画での情報があふれる中、なぜ活字を読む活動が続くのでしょうか。本を読むことの良さとは何なのでしょう。そのことについては様々なものが挙げられます。

①漢字や文章に強くなる

②想像力が高まる

③思考力,知識が身に付く

④コミュニケーション能力が高まる



これらの効果については多くの場所で言われていることであり、実際に効果があるとも言えそうです。

また、私個人的な意見ではあるのですが、これらの効果に加えて「長い時間集中力が持続するようになる」というような効果もあると考えております。

子どもたちのみならず大人でもよく使う「YouTube」や「TikTok」等の動画配信サービスに共通することは何でしょうか。考えてみたのですが、それは「1つの内容がとても短い」ということです。1つの内容が短いため、長い時間集中するということがありません。さらに音声と映像のみで構成されているので、考えなくても勝手に耳や目に情報として入ってきます。また、AIが進化しており、新しい動画を次々と提供するようになっています。もはや「人間が考える時間や必要性がなくなっている」のです。

しかし、子どもたちはその環境にさらされているままでよいのでしょうか。情報端末を使いこなす事はもちろん大切です。しかし「思考を伴って行動する・生きる」ことも大切ではないでしょうか。本校のアンケートでも、子どもたちの読書時間は確実に減っていることがうかがえます。小中学生の間はその集中力を身につける大切な時です。是非、読書に親しみ、長い時間集中力を持続させる素地を身に付けることができるよう、子どもたちに働きかけてみてはいかがでしょうか。

